

	学習指導要領	都立葛飾商業高校 学カスタンダード
(1) 私たち生きる社会	現代社会における諸課題を扱う中で、社会の在り方を考察する基盤として、幸福、正義、公正などについて理解させるとともに、現代社会に対する関心を高め、いかに生きるかを主体的に考察することの大切さを自覚させる。	・現代社会の諸問題について、その原因と影響等を理解する。 ・現代の社会に生きるものとして、自他が共存するために、どのようなことに配慮せねばならないかを考える。
(2) 現代社会と人間としての在り方生き方	現代社会について、倫理、社会、文化、政治、法、経済、国際社会など多様な角度から理解させるとともに、自己とのかかわりに着目して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について考察させる。 ア 青年期と自己の形成 生涯における青年期の意義を理解させ、自己実現と職業生活、社会参加、伝統や文化に触れながら自己形成の課題を考察させ、現代社会における青年の生き方について自覚を深めさせる。 イ 現代の民主政治と政治参加の意義 基本的人権の保障、国民主権、平和主義と我が国の安全について理解を深めさせ、天皇の地位と役割、議会制民主主義と権力分立など日本国憲法に定める政治の在り方について国民生活とのかかわりから認識を深めさせるとともに、民主政治における個人と国家について考察させ、政治参加の重要性と民主社会において自ら生きる倫理について自覚を深めさせる。	・現代社会の特質と社会生活の変化を理解するために、大衆社会、少子高齢社会、高度情報社会等について学習する。また SDG s の諸目標と関連付けて考察する姿勢を持つ。 ・青年期を生きる人間として、主体的に自己形成を図れるよう、青年心理学での基本的概念を学ぶことによってその手がかりを得る。 ・自我の目覚め、モラトリアムとアイデンティティの確立、パーソナリティの形成等について自覚を持って学ぶ。 ・現代社会における青年の位置と役割を考えることによって、積極的に社会参加を志す気概を養う。 ・新聞記事やニュース映像等を通して、わが国の政治的状況について関心を持ち、主体的に関わろうとする姿勢を持てるようにする。 ・主権者としての自覚を持って行動しうる青年となるために、わが国が民主国家であることの意義およびそれを保障する日本国憲法の基本的原理について正しく理解する。

学習指導要領	都立葛飾商業高校 学カスタンダード
ウ 個人の尊重と法の支配 個人の尊重を基礎として、国民の権利の保障、法の支配と法や規範の意義及び役割、司法制度の在り方について日本国憲法と関連させながら理解を深めさせるとともに、生命の尊重、自由・権利と責任・義務、人間の尊厳と平等などについて考察させ、他者と共に生きる倫理について自覚を深めさせる。 エ 現代の経済社会と経済活動の在り方 現代の経済社会の変容などに触れながら、市場経済の機能と限界、政府の役割と財政・租税、金融について理解を深めさせ、経済成長や景気変動と国民福祉の向上の関連について考察させる。また、雇用、労働問題、社会保障について理解を深めさせるとともに、個人や企業の経済活動における役割と責任について考察させる。 オ 国際社会の動向と日本の果たすべき役割 グローバル化が進展する国際社会における政治や経済の動向に触れながら、人権、国家主権、領土に関する国際法の意義、人種・民族問題、核兵器と軍縮問題、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献、経済における相互依存関係の深まり、地域的経済統合、南北問題など国際社会における貧困や格差について理解させ、国際平和、国際協力や国際協調を推進する上での国際的な組織の役割について認識させるとともに、国際社会における日本の果たすべき役割及び日本人の生き方について考察させる。	・個人が人として尊重され、幸福追求の権利が最大限に生かされるとともに、他者の権利が不当に侵害されないためには、何を心がけねばならないか、を考える。 ・裁判員裁判、冤罪が生まれる事情、死刑制度など今日話題になる事柄について正しく認識できるようニュース報道、新聞記事に親しむ機会を増やす。 ・商業高校生として、将来、実際の経済社会において職業人として果たすべき役割と責任を自覚できるようになるために、経済の仕組みの基礎を学ぶ。 ・今日の雇用情勢（正規・非正規）、年金問題などについて具体的に学ぶことによって、人生設計を立てることを試みる。 ・労働基準法を主として、関係する労働法を学ぶことによって、長時間労働・労働災害等に対処できる姿勢を養う。 ・国際社会の中で、わが国がどのような位置を占めており、また何を期待されているかを理解する。 ・世界が抱える諸問題に、個人としてどのように関わることができるか、具体的に何ができるか、を考えることによって、地球市民の一員であるという自覚を持つ。

学習指導要領	都立葛飾商業高校 学カスタンダード
(3) 共に生きる社会を目指して 持続可能な社会の形成に参画するという観点から課題を探究する活動を通して、現代社会に対する理解を深めさせるとともに、現代に生きる人間としての在り方生き方について考察を深めさせる。	・SDG s の諸目標とも関連付けながら、「持続可能」の語義をしっかりと認識し、現代に生きる人間として、持続可能な社会を形成する取り組みについて考える。